

情報(広義、広い意味)、データ、狭義の情報、知識、知恵、「知恵の結果による新しい知識」の関係の表

©江崎通彦 2000/9/17

広い意味の情報を持つ	1	データを持つ	使えるように整理されていない情報を持つことを指します		
	2	狭い意味の情報を持つ	データを使うように整理した情報を持つことを指します (例) データをグラフ化した情報を持つ		
	3	知識を持つ	次の2つの情報を持つことを指します 1. 因果関係の情報を持つこと こうしたら、そうなるとい情報を持つこと (例)「スイッチを押すと電燈がつく」という知識を持つ 2. 存在の情報を持つこと 「もの」もしくは「情報」が存在するという情報 (例 1)そこに建物があるという情報 (例 2)下記の「知恵の情報」があるという情報	体験による知識を持つ	体験をすることにより得られる体験、イメージ情報を持つ (例)自転車の乗り方を知っている (特徴)無意識にその因果関係を知っていること
				学習による知識を持つ	狭義の情報を読むことや聞くことにより得られる知識を持つ
	4	ウォンツ・ニーズ・シーズを持つ	ウォンツ(Want)とはこうしたいな—という欲望・願望をもつこと。 ニーズ(Need)とはこれがほしいという現実的に実現できる要望をもつこと。 シーズ(Seed)とは、これは何かに使えそうだという種または手段を持つこと。 を指します		
	5	知恵を持つ	知恵とは上記のウォンツ、ニーズ、シーズに対して「どうしさえすればよいか」情報を創りだし、把握することを指します。 その内容は次に指す内容の情報になります。 1. 「何をするために、どうしたらよいか」「どうしさえすればよいか」の 目的と手段 に関する情報を持つこと。 2. 1.をもとに、それを実現するためにはこのようにしてやればできるという 落ちのない手順 に関する情報を創り出しもつこと。 (例)「部屋を明るくするために、ライターで手元を明るくして、壁にあるスイッチをさがして、見つけたスイッチを押せばよい」という落ちのない手順に関する情報を創り出すこと。 3. 『あることをするために、どのような「もの」もしくは「情報」の構造のものが 必要か 』の 対象物件(もの)とその構造・構成 に関する情報を持つこと。 (例)震度7の地震に耐えるためには、今設計をしている家には、どのような補強をすれば充分かというもの・構造に関する情報を持つこと、もしくはその情報を考え出したり、創り出すこと。		
6	知恵を使った結果としての新しい知識を持つ	上記の知恵を人に説明できるようになると、知恵が「新しい知識」に変化します。 そして、それを知識として、人に引き渡せるようになります。			

ウイズダム・エンジン

ここで、新しい知識を持った結果を、3.の「知識を持つ」のところへ戻せば、その新しい知識を使って、新しい知恵が出てくるので、それを実行して、また新しい知識を得て、知識のところへ戻してやれば、新しい知恵と知恵を生み出すサイクルを持ったウイズダム・エンジンが出来上がります。 そのエンジンを動かすために、「知識を知恵にかえる方法」が必要になります。